



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

昔あそびの大切さ

●河野浩泰さん

私たちが小学生の頃は、市内でもたぶん、農業を副業としていた家が多かったと思います。今のようには、携帯電話、スマートフォン、カラーテレビのある現代社会はともなう、イフが豊かである。

しかし、私が小学生の頃は、近所の学校の友達と遊ぶのに、たこ揚げ、竹馬乗り、ビー玉、堤防で固い紙に乗って滑ったり、かくれんぼしたりと、質素ではあるが、それなりに楽しく友達と遊び、『何をしたらけがするか』身をもって体験した。カブトムシも、今はほとんどデパートなどで売っている。自らで山に行き、友人たちと探す喜びがない。便利な社会の『影の遊び』。

路面電車の思い出

●大平幸一さん

昨年4月、突然串間に帰省



自分が小学生の時も、まだ携帯電話が普及してなくて外に出てよく遊びました。それであまり感じなかったのですが、今は子どもの運動能力低下が全国的な問題になっているみたいですね。昔ながらの遊びや、農業のように体を使った仕事というのをもひとつの解決策だと思います。一方で、便利さの追求というのは止めることはできないし、止めるべきではないと思うので、結局はバランスが大事なのではないかと思えます。テクノロジーともうまく付き合っていきたいですね。

しました。帰る2、3日前、串間に路面電車が展示されると新聞で拝見したこともあり、楽しみでした。

帰省時に、電車の清掃をされていた係員の娘さんに「ちよっと拝見させてください」と尋ねると「どうぞどうぞ」と娘さん。車内はシートも張り替えてあり、床も清掃されていてきれいでした。

私「ああ懐かしいな」娘さん「この電車は広島から来たのですよ」私「いいえ、この電車は昭和43年に私が23歳で大阪に来てから初めて就職した交通局で、15年間通勤した交通局で、15年間通勤した思い出の電車です」娘さん「へえー、そうだったのですか」

当時上本町台地に営業所がありました。早朝から大阪城前、府庁前、警察本部前、旧NHK前を横目で見ながら通勤した忘れられない路面電車です。

電車でした。

電車が廃止になる前大阪では、お別れの花電車が運行されました。車内外にもいっぱい花で飾り、夜になると遠くでも拝見できました。なお、この電車に乗ることができれば『幸運が訪れる』ということわざがあり、私たちは先回りして乗車したものです。若い時にお世話になった電車が、私の生まれ故郷串間に展示されることに、私は運命を感じます。



不思議な巡り合わせというものがあるんですね。自分も関東に住んでいた頃は電車通勤をしていたので、その頃の景色や京浜東北線や東海道線などの電車はよく覚えていました。それにしても、あの路面電車に乗れば、『幸運が訪れる』という逸話は初めて聞きました。今後電車に来た人に伝えたり、電車のPRにもなったりすると思うので、活用させていただきます。こうしてお使いが届いたのも運命かもしれませんね。

広報コラム



厚生労働省の調査によると、男性と女性の平均寿命には約6歳の差があり、ご存知の通り、女性の方が長生き。要因としては、ホルモン、基礎代謝、かかりやすい病気などに男女間で違いがあるそう。今月号の取材で、高齢者が通ういくつかの運動サークルに行ってみると、参加者は女性ばかりで、いらっしゃった男性は一人だけ。この健康に対する意識の差も、平均寿命の違いとして現れているのではないだろうか。

かくいう私も近頃、老いに対する自覚症状が出始め、そろそろ運動や食生活をどうにかせねばと思う今日この頃。最近では、健康寿命の大事さが叫ばれている。元気なうちにできることから、健康に生きるための準備を始めたい。特に運動を。

(担)



みんなの広場

福島サッカースポーツ少年団 宮崎県大会で優勝

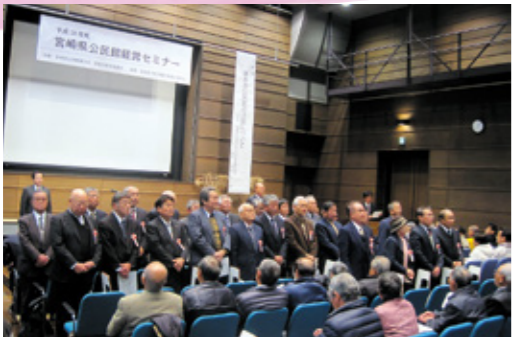


1月22日から2月5日に開催された『マルイチカップ第42回九州ジュニアU-12サッカー宮崎県大会』において、福島サッカースポーツ少年団が見事優勝しました。同少年団は、3月11日から開催される九州大会に出場します。皆さま応援のほどよろしくお願い致します。

串間市から4名が受賞 県農産園芸特産物総合表彰式



共進会などで優れた成績を取った農家や、団体などをたたえる「県農産園芸特産物総合表彰式」で、本市からは野菜部門で武田守さん(キュウリ)、深江一美さん(かんしょ)、花き部門で平川俊一郎さん(トルコギキョウ)、葉たばこ部門で、鬼塚真昭さんの4名が受賞されました。武田さんにつきましては、特別賞の「農林水産省生産局長賞」を受賞されました。



優良自治公民館表彰を受賞しました

1月24日に行われた宮崎県公民館経営セミナーで串間市内の4つの自治会(樋口・子持田・中福良・有明一区)が優良自治公民館表彰を受けました。



日南串間広域不燃物最終処分場 環境保全協定により期間を延長

地元榎原4地区との合意により、日南串間広域不燃物最終処分場で廃棄物の埋め立て処分を行うことのできる期間が平成34年3月31日まで5年間延長になりました。最終処分場は、平成9年から埋め立て開始。当初は、15年ほどで満杯になると見込まれていましたが、ごみの分別、リサイクルが進み、埋め立て量が減少。今後、20年以上は埋め立てできると推計されています。

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください(紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができません。あらかじめご了承ください)。

- ①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③コメントを必ず添えてください。

●Eメールアドレス info@city.kushima.lg.jp



●伝言メッセージ例

じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとうございます。たくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

お便りお待ちしております。